



如意ヶ丘

第22号

《発行》平成29年1月31日



平成29年に創立90周年を迎えます

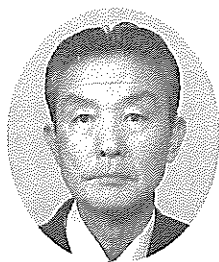


伏木高等学校支援推進委員会・如意ヶ丘同窓会主催中韓歓迎会 (H28.7)



ロシア語学研修 (H28.3)

ごあいさつ



会長
牧 亨

北陸地方にも本格的な冬の訪れを感じる季節を迎えています。会員の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

昨年も、熊本や鳥取での地震、および台風の自然災害による甚大な被害を受け心痛の極みであります。一日も早い復興を祈念申し上げる次第です。

世界に目を向けますと、イギリスのEU離脱をはじめ、アメリカ大統領選挙では過激発言のトランプ氏の当選、

さらに隣国韓国では大統領の退陣問題など日本が今後どのような影響を受けるのか注目されるところです。

さて、本校生徒たちは特色ある国際交流科校にふさわしく第二外国語の習得をはじめ、部活動や地域のボランティアに積極的に参加するなどすばらしい活躍をしています。中国・韓国・ロシア・アメリカの各友好校とお互いに派遣・受け入れをし、語学研修を通じて学校の授業や行事に参加

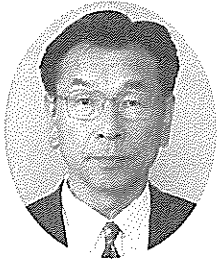
し、さらにホームステイで家族との触れ合いを持つなど、短期間ではありますが貴重な体験をしています。

さて周知のとおり、県立高校の再編整備について、平成20年に前期の発表があって以来、現在後期に向けての骨格素案づくりの検討がなされていて、近々にその発表があるとも聞き及んでおり、本校が直面する大きな課題として注目をしているところです。

さらに本年は、本校が創立90周年の節目を迎えることから、去る7月16日の定期総会におきまして、実行委員会規約・組織および事業の内容等の議案を提起し了承を得たところです。早速9月に第1回実行委員会役員会を開催し、式典・事業は10月6日(金)に挙行し、国際教育基金等の募金趣意書については2月に会員の皆様に発送させていただくことを決定しました。今回の90周年はコンパクトに挙行することを基本としておりますが、会員の皆様には物心両面においてご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

春寒のみぎり、会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

とやま国際草の根交流賞



校長
宮岸 毅

如意ヶ丘同窓会報第22号の発刊に心よりお喜び申し上げます。同窓会員の皆さまには、日頃から本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また7月総会時には、伏木高校創立90周年記念式典の平成29年10月開催を見据えて、実行委員会を立ち上げていただき、国際教育基金の充実を柱とする各種事業を企画いただいております。如意ヶ丘

同窓会会員名簿の10月発刊と併せて心から感謝申し上げます。

今年度の国際交流活動については、7月下旬に、中国の大連市第十二中学と韓国の水原市清明高校から合わせて約70名の生徒を受入れました。どちらの交流校とも第10回目の節目となる受入れになりました。

恒例となっている地域挙げての歓迎パーティは、支援推進委員会とともに如意ヶ丘同窓会の大きな支援を得て、伏木コミュニティセンターで開催していただきました。地元かたかご幼稚園・保育園児による踊りや錬成館のバトン演技、全員参加のゲームなどにより、楽しい時間を過ごしてもらうことができました。

これとは別にPTA主催のバーベキュー歓迎会もあり、保護者にはホームステイ受入れにも多大なご協力をいただいております。このようなPTAによる活動が認められ、国際交流・協力活動を草の根レベルで実践している団体として、平成28年度「とやま国際草の根交流賞」を受

賞できました。これは単にPTAだけの成果ではなく、地域や同窓会を含めた関係各位の国際交流活動への支援が総合的に評価されたものと考えています。

なお、中国、韓国への語学研修は12月に行いました。また、ロシアのウラジオストク市ガルモニア校とは9月下旬に訪問団を受入れており、語学研修は3月実施です。隔年実施のアメリカフォートウェン市ビショップルアーズ高校への語学研修も3月に実施します。

本校は、第2外国語の学習だけではなく、全員が卒業までに一度は海外研修に参加しており、これがユニークで特色ある取り組みであり、国際感覚を養う上で教育効果の高い実践といえます。

また、学校規模は1学年120名の小規模校でありながら、幅が広くて奥が深い国際交流活動は、学校の魅力と活力の源になっています。

これからも、海外友好校との友好交流を通して、本校のスローガンである「目指すは国際人へのパスポート」の趣旨が達成できますよう、生徒、教職員ともに精一杯力を尽くしてまいりますので、益々の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



如意ヶ丘同窓会・支援推進委員会主催歓迎会 (H28.7.25)

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

平成28年度の如意ヶ丘同窓会定期総会は、7月16日(土)16:00より「伏木コミュニティセンター」において、約60人が出席して開催されました。総会では、戸澤副会長の進行のもと、同窓会物故者に対して黙とうを捧げたあと、牧 同窓会長、小林副校長の挨拶がありました。議事は議長に選出された牧 会長にて進められ、平成28年度の同窓会役員(案)や同事業計画(案)、同会計予算(案)、等の議案が満場一致で採択されました。引き続き、いよいよ来年度に迫った「90周年事業」の事業計画や進捗状況について、小林副校長より説明があり、来年度の事業について同窓会の皆様への協力を呼び掛けました。



続いて、在校生による海外研修の報告会を開催し、中国、韓国、ロシアでの語学研修やホームステイを通じて体験した文化や生活習慣の違いについて報告がされました。家族ともども心を込めて迎え入れようとする姿に大いに感動するとともに伏木の地から世界に雄飛する後輩の姿を誇らしく感じました。会場からは温かい拍手が送られました。

その後、懇親会に移り、和やかな雰囲気の中で「如意ヶ丘」での思い出ばなしに花を咲かせました。アトラクションでは伏木在住の林 香津子さんが迫力ある歌謡ステージを繰り広げ、心和むハーモニーに身も心も酔いしれ、会場のムードは最高潮に達しました。

最後に、全員で声高らかに校歌を斉唱し、母校と同窓会の益々の発展とお互いの健康と再会を期し、盛会裏に閉会しました。同窓会会員一同、来年の90周年の大成功を心に期して会場を後にしました。

副会長 山本 健一(伏高43回)

平成二十八年年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	卒業回数	氏名
顧問	商業 14回	山崎 孝之
〃	商業 16回	大黒 幸雄
〃	北高 3回	山下 和夫
〃	北高 3回	吉原 節夫
〃	北高 9回	濱谷 元一郎
〃	伏高 13回	横田 安弘
〃	伏高 20回	盤若 進二
〃	伏高 38回	石須 大雄
〃(関東支部長)	北高 6回	酒井 敬司
〃(関西支部長)	伏高 12回	杉林 清
〃(学校長)		宮岸 毅
会長	伏高 16回	牧 亨
副会長	伏高 18回	山口 正志
〃	伏高 22回	向井 辰郎
〃	伏高 22回	増井 修
〃	伏高 23回	山崎 泰邦
〃	伏高 26回	小泉 哲二
〃	伏高 26回	澤武 博
〃	伏高 28回	上田 耕一
〃	伏高 30回	炭谷 強
〃	伏高 37回	条谷 正利
〃	伏高 39回	戸澤 秀行
〃	伏高 40回	宮越 一郎
〃	伏高 40回	山本 政則
〃	伏高 43回	山本 健一
〃	伏高 51回	佐野 隆明
監査	伏高 16回	山 孝之
〃	伏高 17回	中島 貞之

関西支部 便り

事務局長 山 岡 巖 (伏高 16 回卒)

おかげさまで関西支部設立 20 周年

平成 27 年度総会を 9 月 25 日(日)正午 0 時より、大阪なんばの「道頓堀ホテル」に於いて、如意ヶ丘同窓会より牧会長、母校より宮岸学校長を来賓としてお迎えし、総勢 35 名の参加で第 20 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催された。

冒頭、全員起立し校友の物故者への黙祷が行われた。杉林支部長が「当会も 20 回を迎えました。更に発展して行きたいです。」と開会挨拶あり、続いて、来賓の牧同窓会々長が「高校の 2 期目の統廃合について、当校の存続を県に呼びかけているが近々に発表があると思う。そして来年 10 月 6 日に当校創立 90 周年記念式典事業を行う。100 周年(当校存続が前提)を見据えてコンパクトに地元でやることを予定している。ぜひバスを連れて出席して頂きたい。」と挨拶。宮岸学校長からは「小さな学校ではあるが取り組んでいる事が大きい。生徒全員が英会話はもちろん中国・韓国・ロシア等でのホームステイは必須で、こんな特徴ある学校はないかと思っている。又、7 月には中国・韓国友好校の生徒と歓迎式や交流行事を行った。」等、母校のお話を頂き議事に入った。

杉林支部長を議長に選出し、平成 27 年度の事業報告を山岡事務局長から、収支報告は奥会計から説明、川田副支部長(兼)会計監査から監査報告があり、拍手で承認された。続いて、28 年度の事業計画案、収支予算案を審議した。

牧会長より、関西支部への活動助成金が杉林支部長に授与され、一同拍手で謝意を表した。記念撮影の後、母校への誇

りを忘れず、会の発展に尽くすべく決意を新たに、総会は終了した。

懇親会は、鶴谷副事務局長が司会進行係となり牧会長による乾杯の発声で開宴となった。来賓の高島富山県人社からは、「氷見線と城端線に豪華観光列車『ベル・モンターニュ・エ・メール』(愛称ベルモンタ)が昨年 10 月より走っている。走るギャラリーをコンセプトに車窓を絵画のように演出、また予約すれば富山湾鮭セット、地酒セットもサービスとして販売されている。ぜひ帰省の折には乗車され楽しまれては。」と挨拶。

余興は、人気の「とやま産品争奪ジャンケン大会」に移り、各自がます寿司、かまぼこなど故郷の産品を手にした。来賓の津田近畿高岡会幹事のリードで「越中おわら踊り」を全員で踊り楽しみ、2 時間半にも及んだ懇親会も余韻を残しつつ、やがて終幕を迎えた。

伏木商業学校・伏木高等学校の校歌を全員で声高らかに斉唱。宮岸学校長の万歳三唱、川田副支部長の閉会の挨拶、秋元顧問の力強い格調ある一本締めで懇親会は盛会裏に終了した。母校の益々の発展を祈念しつつ、お互いの健康、変わることのない友情に感謝し閉幕した。



関東支部 便り

事務局長 山 岸 清 (伏高 17 回卒)

第 20 回関東如意ヶ丘同窓会総会

平成 28 年 9 月 29 日、台風と秋雨前線の影響での長雨の中、第 20 回・関東如意ヶ丘同窓会総会が総勢 39 名の出席のもと、千代田区九段北・アルカディア市ヶ谷にて開催された。

母校より宮岸校長・本部同窓会から牧会長そして昭和 20 年卒業の大先輩大黒伏木文化会長の三方にわざわざ新幹線にて上京戴いた。

総会は定刻、金子副会長の司会進行のもと行われた。冒頭、酒井会長挨拶に先立ち、会員物故者への黙祷を捧げた。



挨拶ではご多用の中、来賓の皆さまのご出席への御礼と共に一人一人丁寧なる紹介があり、続いて現世界情勢での「米国大統領選」「英国 EU 離脱」「イラン情勢」等の三点から我が日本への憂慮する影響を想定した、将来日本への強い思い入れの言葉であった。

議事に入り、山岸事務局長より 27 年度事業報告及び 28 年度事業計画の説明があり、続いて北山会計長より 27 年度会計報告、岸監査は急用のため代理の山岸事務局長から監査報告があり、満場一致の拍手で承認されて、議事は全て終了した。

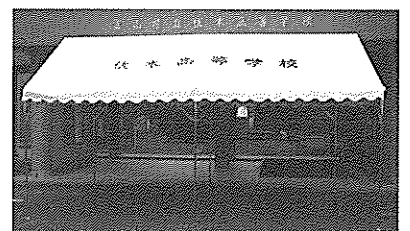
来賓挨拶は稲場伸也東京富山県人連合会副会長、村田信一富山県首都圏本部副部長、山田郁子東京富山県人婦人会会長の皆様よりご祝辞を戴いた。

牧会長挨拶では同窓会の近況報告、宮岸校長からは母校の活動状況を記した新聞切抜スクラップを戴き、教育・文化・スポーツ等の活動の現況報告があった。

少子化問題では母校は他に類なき「国際交流科」であっても、学校存続には多少の懸念はあり、教育委員会の検討状況を見つめたいとの説明であった。伏木文化会大黒会長からは伏木商業は戦前より海外を意識し設立した学校であったとの歴史講話であった。

二部懇親会では山岸事務局長の司会進行でまずは吉田常任幹事の朗々と詠いあげた自作の詩吟「立山」に聴き入り、石岡弘子富山県人婦人会事務局長の音頭にて声高らかに乾杯、歓談に入った。

歓談進む中、浜副会長の郷土の歌謡、立山アルペンルート、帆柱起こし、麦屋節、そして越中おわら節では特別出席戴いた富山県人婦人会 7 名の皆様の優雅な流し踊りは、見事に華を添えて戴いた。カラオケは林副会長を皮切りにマイクの取合い、最後は全員で「青雲布ける立山に・・・」と校歌斉唱後、関東如意ヶ丘同窓会組織され 20 周年を記念し、集会テントを母校へ寄贈の金一封を酒井会長から宮岸校長に手渡された。母校発展を祈念し鶴谷副会長音頭で万歳三唱、宮岸校長から当会の発展と会員各位の健勝を祈念し返礼の万歳三唱があり、エール交換後、林副会長から来年も再来年も元気で会いしましょうとの締めの挨拶で散会となった。



(平成 28 年 9 月寄贈)

同窓会報告

同窓会を終えて

島田 博司 (伏高27回卒)

7月17日、卒業後42年の歳月が過ぎ、第3回還暦同窓会の開催と相成りました。

前年から装い新たになった伏木コミュニティセンターで準備会を何度も繰り返し、予算の配分、送迎の当番、買出し当番等地元に残る有志によるささやかながら精一杯のおもてなしの心で取り組みさせて頂きました。案内状の回収率も高く、住所変更により案内できなかった人は1割程度で収まり、出欠確認においては8割のご返事をいただきました。年齢が示す責任感の現れと称賛致します。開催前に記念写真ををとることとなり、整烈致しましたがさすがにこの年になりますと先生と区別のつかない風貌の生徒も！釣谷先生の乾杯を合図にいよいよ酒宴のスタートです。飲みあがるつれ車座の場所が増え始め、皆の顔つきが高校時代の形相に変わっていく特別な時間が新たなスタートとなりました。宴会開始から2時間経過。殆どの人が席を立ちません。(トイレ組は別ですが)2時間半経過。さすがに仲居さんから追い出しをくらい、部屋のみ会場へと移動いたしました。大部屋をお願いしてあったにもかかわらず一人半畳位のスペースを確保し、二次会の開催と相成り

ました。「あの頃は乙女、今太目」という方は見受けられず、「あの頃カッコイイ、今相撲取り」を絵にしたような男どもの奇妙な宴会が誰が持って来たか分からない卒業アルバムを肴に夜半まで続けました。

朝風呂に入ると早速次回開催の申し出で！「次はもっと人数を増やしたいね」と会話を後に朝食を済ませ、三々五々皆現実の世界へと戻って行きました。5年後何人に増えるかな？新たな課題を与えられ、同窓会を終えることができました。

担任の先生方、同級生の方々に

感謝 感謝 感謝



環はなびにて

旧職員寄稿

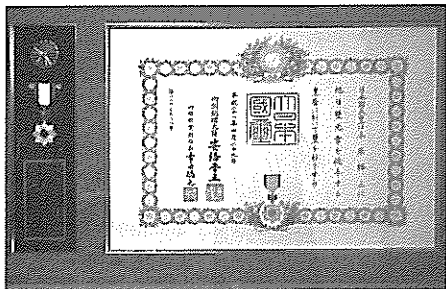
平成28年 春の叙勲旭日双光章受章

旧職員 木原 勝之

栄ある春の叙勲旭日双光章受章は、皆様方の温いご支援とご指導によるもので、心より感謝申し上げます。

3月18日に県知事石井隆一氏より、内閣府の春の叙勲受章の内定の報告を賜り慎んで受諾しました。4月29日に閣議決定後、正式に各報道機関から発表され、5月12日、国立劇場大劇場で行われた春の叙勲受章伝達式に出席しました。文部科学大臣馳浩氏より北島三郎氏が受章者代表として受章され、その後、皇居宮殿の春秋の間において天皇陛下の拝謁があり、記念撮影にも参加しました。

昭和38年に教職に赴き、保健体育の指導を続け、体育大会では集団演技に“青年体操”や“躍動”を行ってきました。また、部活動では体操競技の指導をし、全国高校総



体に監督として22回出場、自身自身は国体選手として国体に10回出場しました。その間、全国高体連体操部の技術委員や常任委員の役員などしてきました。県

の社会体育推進事業においては、小学生の体操教室や総合型地域スポーツクラブの役員として普及発展に努めました。また、県体操協会の会長を4年間努め、スポーツエキスパート派遣では選手の指導を継続しています。私は昭和27年に(故)竹本正男先生の素晴らしい演技に感動し体操を始めました。平成28年のリオ・オリンピック体操競技男子が金メダルを獲得し、子どもたちに大きな夢と希望を与えてくれました。私も、永年体操競技に関わってきた者として、今後も誇りをもって指導していきたいと思っています。



三北 回卒 代表 山下和夫	山産商會	三北 回卒 富山大学名誉教授 吉原節夫	八北 回卒 高岡法科大学名誉教授 松長一雄	松長社会保険労務士事務所	九北 回卒 高松市代表取締役 布野彰一	十伏 回卒 日光商事代表取締役 戸澤克行	東光産業(株)	十伏 回卒 社会福祉法人 伏木会 理事 牧野貞夫	十二伏 回卒 エムアールテクノサービス(株)代表取締役 作道弘	十伏 回卒 代表取締役 上野宏芳	十五伏 回卒 代表取締役会長 中山勝儀	十六伏 回卒 代表取締役 牧亨	東光運輸(株)	十伏 回卒 代表取締役会長 山孝之	ヤマ自動車(株)	十七伏 回卒 事務局長 中島貞之	十八伏 回卒 代表取締役 山口正志	東洋通信工業(株)
------------------------	------	------------------------------	--------------------------------	--------------	------------------------------	-------------------------------	---------	-----------------------------------	--	---------------------------	------------------------------	--------------------------	---------	----------------------------	----------	---------------------------	----------------------------	-----------

記念式典・祝賀会開催

来る平成29年に創立90周年を迎えるにあたり、記念式典及び祝賀会を開催することになりました。

《期 日》平成29年10月6日(金)

《会 場》式典…伏木高校第一体育館

祝賀会…伏木コミュニティセンター

平成28年度同窓会総会において、創立90周年記念事業実行委員会発足の承認を受け、現在、実行委員会にて企画を進めております。会員の皆さまには募金活動の趣意書を送付させていただきましたので、趣旨をご理解いただき賛同のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

実行委員会役員

- 実行委員長 如意ヶ丘同窓会長
- 副委員長 同窓会副会長
- 教育振興会長
- PTA会長
- 伏木高等学校長
- 事務局長 伏木高等学校副校長

記念事業 募金のお願い

伏木高校は、昭和2年に伏木商業学校として創立され、その後、学校改編等による幾多の変遷を経て、平成29年には90周年を迎えることになりました。創立90周年記念事業といたしましては、伝統を引き継ぎ一層の発展を図るため、「国際教育基金の充実」「記念モニュメントの建立」「学校教育活動の振興」としてあります。

募金活動については、同窓生諸氏並びに本校関係者、また、PTAや地元企業からも広く篤志を賜りたいと考えております。同窓生のみならず、募金の趣旨をご理解のうえご協力をいただきますようお願い申し上げます。

○富山県立伏木高等学校創立90周年記念事業募金納入方法 次の金融機関にお振込みください。

なお口座名称は、いずれも「伏木高校創立90周年記念事業実行委員会」です。

- ・伏木郵便局 口座番号 00720-5-101621
- ・北陸銀行伏木支店 口座番号 6022120
- ・高岡信用金庫本店 口座番号 0885239
- ・氷見伏木信用金庫伏木支店 口座番号 0298129

ゴルフ大会報告

第31回 如意ヶ丘グリーン会

開催日	優勝	澤武 博 (伏高26回)
平成28年4月9日(土)	次勝	細川 信雄 (伏高15回)
開催場所	3位	牧 亨 (北高12回)
氷見カントリークラブ	4位	中山 勝儀 (伏高15回)
参加者 51名	5位	飯澤 隆夫 (北高12回)
	6位	垣内 浩之 (伏高30回)
	7位	酒井 浩文 (伏高16回)
	8位	関口 稔宏 (伏高25回)
	9位	井波 勝利 (北高12回)
	10位	柿谷 耕治 (伏高29回)
	B G	田中 清 (北高9回)



第28回 富山県高校OB対抗ゴルフ大会

期 日	〈出場者〉
平成28年6月5日(日)	安藤 昌広 (伏高30回)
場 所	守井 義一 (伏高25回)
高岡カントリー倶楽部	舘 良成 (伏高32回)
	柳澤 昌文 (伏高25回)
第28位に入りました。	細川 信雄 (伏高15回)
	廣野 辰之 (伏高23回)
	澤武 博 (伏高26回)
	戸澤 秀行 (伏高39回)

平成28年度 国際交流事業実績

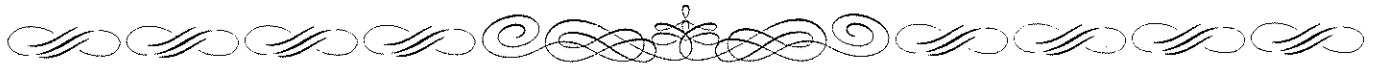
1 海外語学研修等派遣

派遣事業名	派遣国	派遣人数		期間等
		生徒	引率	
日露交流プログラム	ロシア	2	1	H28.9/15～9/24
日韓高校生交流	韓国	1	なし	H28.10/23～10/28
語学研修(友好校:大連市第十二中学)	中国	29	4	H28.12/10～12/14
語学研修(友好校:清明高等学校)	韓国	44	4	H28.12/14～12/18
語学研修(友好校:Bishop Luers H.S)	米国	24	2	H29.3/10～3/19
語学研修(友好校:ガルモニア校)	ロシア	23	4	H29.3/12～3/19
インターアクトクラブ台湾研修旅行	台湾	2	なし	H29.3/21～3/25

2 友好校生徒等受入れ、第2外国語学習、国際理解交流等

受け入れ事業名	受入国	受入人数		期間等
		生徒	引率	
中国・大連市第十二中学との交流	中国	30	3	H28.7/23～7/27
韓国・清明高等学校との交流	韓国	40	3	H28.7/24～7/28
ロシア・ガルモニア校との交流	ロシア	7	1	H28.9/27～10/4
国際ロータリー 国際青少年交換プログラム	米国	1	なし	H28.9～H.29.8
国際青年育成交流 (オーストリア・ドミニカ共和国の青年受入)	オーストリア ドミニカ共和国	7 10	12	H28.10/6
海外青少年赤十字メンバー 受入れ	マカオ	2	2	H28.11/1
JENESYS2.0 中国高校生 受入れ	中国	28	6	H28.11/11
ロシアダンススポーツ団(受入)	ロシア	8	8	H28.7/13
韓国JC(大邱壽城青年会議所)受入れ	韓国	10	14	H28.9/30

伏高 北野 健一 (有)きたの 代表取締役	伏高 増井 修 (株)マスイ 代表取締役	伏高 山崎 泰邦 特別養護老人ホームふしき苑 理事・施設長	伏高 小泉 哲二 (有)昭和運輸 代表取締役	伏高 澤武 博 常勤理事 氷見伏木信用金庫	伏高 井上 人士也 院長 井上動物病院	伏高 松長 聡 新築さつきとぎと市場 浜焼き浜風	伏高 島田 博司 代表取締役 島田工業(株)	伏高 松嶋 浩二 代表取締役専務 松島工業(株)	伏高 数田 昭久 (株)ローリング 代表取締役	伏高 糸谷 正利 代表 スミエ芸企画	伏高 前田 伊和男 代表取締役 ティーエムシーエムアール(株)	伏高 宮越 一郎 代表取締役社長 宮越工業(株)
-----------------------------	----------------------------	-------------------------------------	------------------------------	-----------------------------	---------------------------	--------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------	---------------------------------------	--------------------------------



～平成 27 年度 進路状況～

進路指導部長 浜木 健繁

国際交流科の第9期生の進路状況は右記のようになりました。
 国公立大学合格者は、1期生9名、2期生4名、3期生4名、4期生11名、5期生5名、6期生4名、7期生4名、8期生6名です。進学に関しては、推薦入試、AO入試、センター試験利用入試等様々な形があります。それぞれに対応したきめ細かい指導の結果、各自の希望をかなえられるようにしています。

進路先については、大学短大進学者46名のうち県内進学者が10名(22%)、石川県13名(28%)、関東方面7名、中部方面12名、近畿方面4名となっています。また、専門学校進学者43名のうち28名が県内(65%)となっています。

就職に関しては、年々明るくなっています。特に男子の求人が大変多くなっています。

生徒の個々の能力に合わせ、最善の進路を選択できるよう教職員一丸となって努力しています。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしくお願ひします。

平成 27 年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	6	新潟、富山、滋賀、都留文科、新潟県立、長岡造形
私立大学	57	立命館、大東文化、愛知学院、名古屋外国語、中部、日本赤十字豊田看護、跡見学園女子、高千穂、金沢工業、金沢星稜、金沢学院、福井工、仁愛、高岡法科、名古屋商科、富山国際、京都橋、駿河台 など
短期大学	12	富山、富山福祉、金城、飯田女子、埼玉女子、桐朋学園芸術、産業技術 など
専門学校	52	富山県立総合衛生学院、富山赤十字看護、厚生連高岡看護、高岡市医師会看護、富山病院付属看護、富山歯科総合学院、富山医療福祉、金沢リハビリテーションアカデミー、富山市立外国語、富山ビューティカレッジ、富山情報ビジネス、富山理容美容、金沢英専、金沢国際ペット、金沢調理師、金沢製菓調理、金沢観光、駿台外語&ビジネス、富山大原簿記、東京スクールオブミュージック&ダンス、金沢科学技術、富山クリエイティブ、東邦学園、ファーストコンピューター、東京観光、富山自動車 など
文部科学省管轄外	1	石川職業能力開発短期大校
その他	7	カナダの大学(アルバータ大学)・ワーキングホリデー(オーストラリア)
就職	20	アイシン軽金属、JFEマテリアル、三進運送、一宮運輸、富山住友電工、高岡製作所、メディカルケア、藤園苑、魚金、機はなび、新新薬品、イワイ、明徳、ジー・テイスト、クマキ、デンソー工業、水見うどん海津屋、島田商事 など

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆ 平成28年度部活動の記録 ◆◆◆ (平成28年3月～11月)

〈体操部〉

富山県高等学校春季大会体操競技

女子団体	第1位	
女子個人総合	第2位	喜 香恋 (2年)
	第3位	尾山 実優 (2年)

富山県高等学校総合体育大会体操競技選手権大会

女子団体	第1位	
女子個人総合	第2位	吉田 優芽 (2年)
	第3位	尾山 実優 (2年)

富山県ジュニア体操選手権大会

女子Aクラス個人総合	第2位	尾山 実優 (2年)
女子Aクラス平均台	第2位	布野 彩香 (2年)

富山県スポーツフェスタ第69回富山県民体育大会体操競技

個人総合	第2位	尾山 実優 (2年)
女子種目別ゆか	第2位	喜 香恋 (2年)

富山県高等学校新人大会体操競技

女子団体	優勝	
女子個人総合	第2位	吉田 優芽 (2年)
	第3位	喜 香恋 (2年)

〈書道部〉

第41回富山県青少年美術展

書	入選	西尾 美咲 (3年)
書	入選	土肥 咲菜 (3年)
書	入選	林 佑香 (2年)
書	入選	河野 はな (2年)

第15回岐阜女子大学全国書道展

奨励賞	土肥 咲菜 (3年)
奨励賞	磯部 柁希 (1年)
奨励賞	二塚 萌菜 (1年)
奨励賞	寺 絵吏 (1年)
特別賞	西尾 美咲 (3年)
特別賞	吉野 瑞稀 (1年)

〈美術部〉

第41回富山県青少年美術展 絵画 入選 三上 陽香 (2年)

〈第34回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会朗読の部・高校生部門〉

第3位 魚津 朱音 (2年)

〈第18回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテストスピーチ部門〉

第3位 河原 真帆 (2年)

〈富山県共同募金感謝状〉

伏木高校生生徒会

〈第10回ロシア語スピーチコンテスト〉朗読部門 第1位 ウタランカミル (3年)

朗読部門 第2位 布瀬 桃香 (3年)

〈第17回北陸地区高校生中国語発表会 初級リーディング部門〉

第1位	魚津 朱音 (2年)
第2位	田中 大成 (2年)
第3位	黒川 舞弥 (2年)

◆平成28年度英語検定合格者数 (平成28年12月現在)

級	1年	2年	3年	合計
2級	1	2	21	24
準2級	5	25	13	43
3級	16	—	—	16

INFORMATION

①寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集致します。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内をお願いします。下記学校事務局まで送付ください。

②会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年4月第2土曜日

富山県立伏木高等学校 事務局
 〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号
 TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707
 ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/>

受付
窓口

編集後記

人それぞれと思いますが、もしタイムマシンがあったら私は間違いなく「高校時代へ」と依頼します。もう一度あの頃に戻り、青春を謳歌し、また勉強ももう少し・・・。ことわざにもありますが、在校生の皆さんには、後悔のない高校生活を送ってもらいたいと願っています。

その母校では、本年10月に創立90周年記念事業が行われます。これを成功させるため、役員一同は鋭意努力しておりますが、会員の皆様にも、記念事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 炭谷 強 (伏高30回)